

中小企業タイムズ

Small and Medium Enterprises Times 山梨県中小企業団体中央会機関誌

定価 **100円**

昭和36年4月10日

第三種郵便物認可

会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

今月の見どころ

- 業界懇談会 1面
- ものづくり2次公募ご案内 2面
- 景況情報・オピニオン 3面
- 組合活動あれこれ 4・5面
- 6次産業化・ものづくり事業者紹介 6面
- 組合実務講習会 7面

8 August

2016年
第717/292号
(毎月1日発行)

7月の出来事

●時事

- 10日 参議院議員選挙
- 14日 フランスでトラック突入テロ
- 15日 トルコでクーデター
- 18日 山梨勝沼で37.5℃の猛暑日
- 21日 ロシア陸上、リオ出場ならず
- 22日 「ポケモンGO」日本国内での配信を開始

●山梨県中央会ニュース

- 7、14、21、26日 組合実務講習会
- 14日 関プロ中央会会長会議
- 20日 正副会長会議
- 25日 労務改善団体連合会 通常総会
- 26日 高校教職員と中小企業団体との情報交換会

8月の予定

- 2日 組合実務講習会
- 23日 中小企業と大学教職員の交流会
- 26日 静岡・山梨合同UIJターンイベント

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

県内中小企業への高校と業界団体の情報交換会を開催 高校生の採用と定着に向けて

中央会では、山梨労働局と山梨県労政雇用課・高校教育課とともに7月26日に甲府市のポリテクセンター山梨で「やまなし中小企業の魅力発信」と題した高校教職員と中小企業団体との情報交換会を開催した。

この情報交換会には、県内の中小企業の業界団体として13組合・7協会から24名が参加するとともに、県内の公立・私立高校17校の進路指導教諭等の出席があり、業界の働き甲斐などのPRと各高校での就職指導状況の報告と意見交換が行われた。



情報交換会の参加者(左:高校からの出席者 右:業界団体の出席者)

中小企業における人材確保の状況

数年前より、県内の様々な業界で資格者や技能工の高齢化と減少という形で人材不足が進行しており、本県の有効求人倍率が1.0倍を超えた昨年9月以降は労働力自体が不足するという状況となり、益々人手不足感に拍車がかかっている。中小企業の経営の根幹を支えている様々な資格者や多様な技能者の確保と育成に今から対策を講じておかないと、近い将来、労働力や人材の確保が困難になる企業が増え、結果として業務の縮小や廃業等により雇用の場が失われ、県内経済の低迷につながりかねないことも危惧される。

そこで中央会では、こうした事態に対応するために、業界ごとに人材確保と育成に取り組むことが効果的であるという観点から、各種の雇用対策関係の事業を進めてきた。その一環として、山梨労働局の主催で「高校と業界団体の情報交換会」が初めて開催され、中央会からの呼びかけにより、20団体が参加する運びとなった。



進路指導等の状況を説明をする教諭

業界団体からの説明と提案

情報交換会では、各団体より、業界の構成員企業の主な業務内容、働き甲斐や仕事の魅力に対するPR、業界ごとの人材不足の状況と将来予想、就職にあったって取得が望ましい職業資格や業界で取り組んでいる人材育成の状況などの説明が行われた。

各業界とも人材不足や資格者・熟練技能者などの高齢化の課題を抱えており、県内の高校で就職を希望する若い人材に大きな期待を持っている一方で、高校生の就職を進めるにあたって高校との接点を増やしたいという要望があった。また、各業界の仕事内容のPRのために高校へ出向いてデモンストレーションや出前授業を行ってもよいという積極的な提案もあった。

高校側からの感想と要望

各高校からは、生徒数や就職希望者数、就職指導にあたって進めている資格取得やインターンシップの取り組みについての説明のほか、これまで知らなかった様々な業界の詳しい就職情報や人材ニーズが得られたことを今後の進路指導に活かしていきたいという意見も多くあった。

また、企業からコミュニケーション能力や即戦力を求められることに対して、生徒指導の難しさについての発言もあった。

県内中小企業への人材の採用と定着に向けて

企業の経営資源は「ヒト・モノ・カネ」と言われている。その中で、人材は採用・育成・定着に時間とお金をかけなければならず、最も得難い経営資源である。特に従業員の少ない中小企業においては、優秀な人材を採用し、どのように育てていくのかが企業の経営力向上を大きく左右する。

今回の情報交換会においても、業界・高校の双方から引き続き情報交換を行いたいという要望もあり、時期や開催方法の検討を行い、次回以降につなげていきたい。

中央会では、今後もこれまでのノウハウやネットワークを活用し、若者・女性・中高年など多様な人材の採用と定着事業、県外からの優秀な人材の確保のためのUIJターン事業、企業の処遇改善事業など、県内中小企業の人材確保に向けた事業を広範に取り組んでいく。また、組合をはじめとした様々な組織を通じた共同採用や共同人材育成などの事業展開を積極的に支援していく。



業界の説明をする組合関係者

情報交換会に参加した高校

- 韮崎高校
- 韮崎工業高校
- 甲府城西高校
- 農林高校
- 峡南高校
- 身延高校
- 笛吹高校
- 日川高校
- 塩山高校
- 中央高校
- ひばりが丘高校
- 県立盲学校
- 県立ろう学校
- 東海大学付属甲府高校
- 甲斐清和高校
- 富士学苑高校
- 身延山高校

情報交換会に参加した業界団体

- 一般社団法人 山梨県自動車整備振興会
- 山梨県美容業生活衛生同業組合
- 甲府市介護サービス事業者連絡協議会
- 山梨県旅館生活衛生同業組合
- 一般社団法人 山梨県機械電子工業会
- 山梨県印刷工業組合
- 山梨県配電盤工業協同組合
- 山梨県信用組合協会
- 山梨県民信用組合
- 都留信用組合
- 一般社団法人 山梨県トラック協会
- 山梨県重機・建設解体工事業協同組合
- 一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会
- 山梨県冷凍空調設備事業協同組合
- 山梨県造園建設業協同組合
- 山梨県電気工事工業組合
- 山梨県木材製品流通センター協同組合
- 山梨県山砕石事業協同組合
- 山梨建築設計監理事業協同組合
- 一般社団法人 山梨県測量設計業協会

中小企業・小規模事業者のための

“ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金”
2次公募受付中です!

平成27年度補正予算による「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」の2次公募を受け付けております。
本事業は、中小企業・小規模事業者が取り組む、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善のための設備投資等を支援するものです。

1.事業目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援します。

2.補助対象者

山梨県内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。

3.補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】の2つの類型があります。それぞれについて、「一般型」「小規模型」があります。

	【革新的サービス】	【ものづくり技術】
一般型	・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3以内 ・設備投資が必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費	
小規模型	・補助上限額:500万円 ・補助率：2/3以内 ・設備投資が必要 ・補助対象経費:機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費	

注1.業種の如何を問わず、【革新的サービス】、【ものづくり技術】のどちらでも申請が可能。
注2.「設備投資」とは専ら補助事業のために使用される機械・装置、工具・器具(測定工具・検査工具、電子計算機、デジタル複合機等)及び専用ソフトウェアの取得のための経費(以下「機械装置費」といいます)のうち、補助対象経費で単価50万円(税抜き)以上を計上する場合を指します。

4.事業実施期間

交付決定日～平成28年12月31日まで

※2次公募の10月中を目途に採択を行う予定です。その後、交付申請書をご提出いただいたのち、交付決定となります。

5.補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たし、事業実施期間内にすべての事業手続きが完了することが必須です。

- (1)【革新的サービス】のみ
「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること
- (2)【ものづくり技術】のみ
「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画(3～5年計画で「付加価値額」及び「経常利益」の増大を達成する計画)であること。
- (3)【革新的サービス】【ものづくり技術】共通
どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

6.公募締切

平成28年8月24日(水)【当日消印有効】

7.採択件数

全国で概ね100件程度を予定

8.その他

- (1)本事業では、中小企業等経営強化法による「経営力向上計画」の認定事業者(一般型のみ)及び「経営革新計画」の承認事業者、賃上げ等に取り組む企業、本事業によりTPP加盟国等への海外展開により海外市場の新たな獲得を目指す企業、小規模型に応募する小規模企業者に加算します。
- (2)その他、詳しくは本事業専用のホームページに掲載している「公募要領」をご確認ください。また、公募申請される際には、同ホームページに掲載している「公募申請書(様式)」をご使用ください。
専用ホームページ：<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/mono27>

9.お問い合わせ

山梨県中小企業団体中央会 ものづくり支援センター
又は 組合担当指導員 まで
TEL 050-6861-9977
URL <http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/mono27>



「山梨の強み」を生かす経営の可能性

山梨県が発行した「統計からみたやまなし」平成27年度版に、全国順位3位以内のものが、工業、農業、自然、福祉・医療、安全、社会生活、家計、文化の8ジャンルに24項目が掲載されている。
主なものを紹介すると、工業では、「貴金属製装身具」「ミネラルウォーター」の年間出荷額と「ワイン等の年間販売(消費)量」が1位となっている。農業では、当然「ブドウ」「モモ」「スモモ」の収穫量が1位となっている。自然では、「年間の日照時間」と「最高気温(日最高気温の月平均の最高値)」が1位で、「森林面積割合(対総面積)」が3位となっている。
一方、生活面から見ると、福祉・医療では、人口10万人あたりの「老人福祉センター数」が1位、「保健師数」が2位、社会生活では、「1日平均の食事時間」が1位、「障害者を対象としたボランティア活動の行動者率(年間)」が1位となっている。
話は変わるが、栃木県宇都宮市はギョーザで有名であるが、これは1世

帯当たりの購入金額が全国順位で1位というデータを仕掛人が利用し、地域興しにつなげた事例である。
本県にも全国順位で上位を占める多くのデータがあり、データに裏打ちされた山梨の強みを各企業が培ってきた強みと組み合わせ差別化することで、成長のきっかけを見つけられるかもしれない。更に、来るべきIoT(Internet of Thing ありとあらゆるモノがインターネットに接続する世界)社会では、様々なチャネルから収集した膨大なビックデータを分析して得た定量的な評価に、地方で活躍する中小企業として今まで培ってきた経験や勘を加えた意思決定を組み合わせることで、実現性の高い新たな成長戦略の構築に繋げる可能性があるのではないかと思うが如何だろうか？



▶データから見た

業界の動き

平成28年

6月分

●情報連絡員からの景況報告の概要

平成28年6月の山梨県内の全業種のDI値(前年同月)は、収益状況と景況感ともに若干改善したが、売上高は14ポイント悪化している。

前月比で比較すると売上高は不変、収益状況は8ポイント、景況感6ポイント改善傾向にある。製造業では前月比の収益状況5ポイント改善、景況感是不変だが、売上高は15ポイントと3ヶ月連続で悪化した。

これまでインバウンド需要が下支えてきた影響が出てきており、サービス業関連に、中国経済の減速や株安・円高、大手自動車メーカーの燃費データ不正問題が製造業関連の景気の引き下げ要因となっている。英国EU離脱やテロ行為などによる世界経済への先行き不安から、安全資産として日本円への需要が高まり更なる円高要因となっており、景気全般への影響が懸念される。

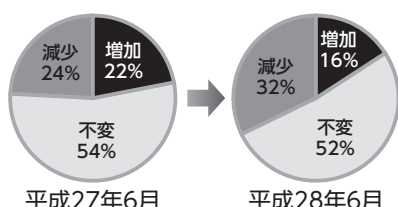
製造業では、輸出の減少や原材料の値上がり、廉価輸入品の拡大による国産のシェア縮小等を懸念する報告が寄せられた。

マイナス金利導入で住宅ローン金利や企業の借入金利は低下傾向にあるものの、世界経済の先行き不透明感が国内景気の後退感を一層強めており、個人消費が持ち直す要因が不足している。一方で、経営者の高齢化に伴う事業継承問題や技能者などの不足等、経営課題も多く中小企業の経営力強化が急務である。



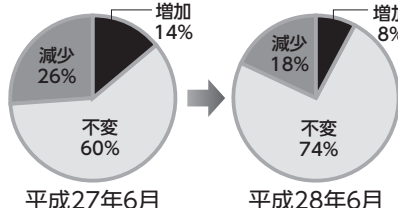
データから見た業界の動き(平成28年6月分)

▶売上高(前年同月比)



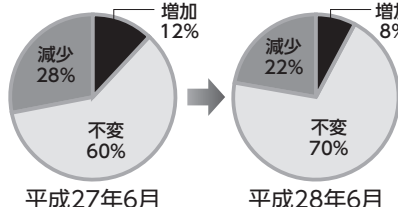
- DI値▲16(前年同月比±0)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲25(前年同月比▲10)
 - 非製造業 ▲10(前年同月比▲17)
- 前月比DI値
 - 製造業 15ポイント悪化
 - 非製造業 10ポイント改善

▶収益状況(前年同月比)



- DI値▲10(前年同月比+2)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲15(前年同月比+10)
 - 非製造業 ▲7(前年同月比▲4)
- 前月比DI値
 - 製造業 2ポイント改善
 - 非製造業 10ポイント改善

▶景況感(前年同月比)



- DI値▲14(前年同月比+2)
- 業種別DI値
 - 製造業 ▲25(前年同月比▲10)
 - 非製造業 ▲7(前年同月比+10)
- 前月比DI値
 - 製造業 不変
 - 非製造業 10ポイント改善

業界からの報告

■製造業

- 食料品(水産物加工)／ホテル・レストラン等向けの生食材は横ばいだが、ギフト関係は日本郵政向けのカatalog販売が再開したため伸長、前年同月比105%。
- 食料品(洋菓子製造)／自社製品の専門店向けやOEMが好調だったが、量販店や輸出が不振のため全体の売上は97%。
- 食料品(製麺)／組合員の減少や売上の減少などにより、組合運営が厳しい。
- 食料品(菓子)／円高により原材料が値上がりしているため、コスト増。
- 食料品(ワイン)／円高により輸入ワインの消費が高まり、国産ワインの売上減を懸念。
- 繊維・同製品(繊維物)／全体的に動きが悪く厳しい状況が続いている。ホテル向けの高級インテリア製品は需要はあるが、受注価格が厳しい。
- 繊維・同製品(アパレル)／オーダー製造は、原材料等の値上がりに伴い販売単価が上昇。
- 木材・木製品製造／イギリスのEU離脱問

題により外材の値動きを注視している。

- 窯業・土石(砂利)／昨年から引き続き地域格差が生じている。
- 窯業・土石(山採石)／平成28年度に入り、前年4月と比べての出荷量は不変だが出荷製品に偏りが見られる。5月に入り、景気刺激策として今年度前期に80%の公共事業契約を明言しているが、骨材出荷量は4%減少。
- 一般機器／円高・株価の低迷等で受注先からは在庫調整があり、自動車・設備機械関係の輸出の減少、個人消費の停滞も続き厳しい状況が長期化する傾向にある。
- 電気機器／国内外の諸問題が大きく景気に悪影響を与えている。
- 宝飾(研磨)／香港での展示会に期待したが、非常に厳しい結果となった。
- 宝飾(貴金属)／売上は増加傾向だが、原材料の地金が値上がりしているため利益に結びつかない。

■非製造業

- 卸売(塗料)／円高により、海外での価格競争が不利になっている。
- 小売(食肉)／国産の豚・牛肉の出荷量の減少により相場が高騰。また、世界的な異常気象等の影響により輸入食肉の入荷量も減少しているため、価格が上昇し販売価格に影響が出てきている。
- 小売(電機製品)／夏商戦を迎えエアコン販売の好調により地域店・量販店とも前年同月比114%。しかし、テレビ、冷蔵庫等の売上は前年を下回った。
- 宿泊業①／中国からの団体客に陰りが見始めている。
- 宿泊業②／円高が進むとインバウンドが減少すると予想。先行き不透明。
- 美容業／美容院店舗数の増加による過当競争や低価格競争により格差が拡大。組合員の高齢化により脱退者が増加傾向。
- 警備業／警備の受注量が多いが、警備員不足や高齢化により受注に応えられない状況。

- 建設業(総合)／6月の県内公共工事動向は、前年同月に比べ件数は不変だが請負金額は38%増加。累計では、前倒し発注の政策が要因と考えられるが、件数で2%、請負金額では22%増加。
- 建設業(型枠)／公共民間工事ともに多少の動きが出てきたが、平年より動きが鈍いため首都圏に仕事を求める組合員が多い。請負単価も下がるなか、社会保険の加入義務化や材料代の高騰などにより経営が厳しい組合員が多い。
- 建設業(鉄構)／全体に稼働率が低下。
- 設備工事(電気工事)／通年この時期は仕事量は少なく低迷。
- 運輸(タクシー)／夜間利用の乗客が減少しているため、売上も前年に比べ減少。
- 運輸(トラック)／運送業界は、物流二法の施行以降多くの参入が続き大手元請業者による下請への運送再委託が常態化しており利益確保が困難。ドライバー不足が深刻化。

オピニオン opinion

●有限会社ヤマナカ産業 代表取締役 山中 貞行氏

「地域」・「連携」・「継続」～「木材」に関わる全ての人々の笑顔のために～

当社は、住宅木材の加工や工務店等への材木の販売を行っています。私は、材木店での修行を経て、平成2年に創業しました。創業時は妻と2人で中古の軽トラック1台を運転し、二人三脚で仕事に励みました。顧客の信用を得るため、木材の肌触りや特性、その機能に至るまで日々勉強を重ね、一つ一つの住宅に最適な木材を提供するため、心をこめて働いてきました。

そうした積み重ねにより、「ユーザー、さらにはエンドユーザーとの会話の重要性」に気づきました。私はもともと人々の笑顔が大好きでした。そのため、ユーザーやエンドユーザーの要望や願いを真摯に聞いたうえで、その人々を笑顔にするため仕事に励んできました。今の当社があるのは、そうした姿勢を顧客に評価していただいたおかげだと

思っています。その結果として、顧客からの紹介により、徐々に仕事が増えていきました。これらの経験は、私に「人との繋がり」の大切さを認識させてくれました。

こうして徐々に事業が拡大する中、私の中にはあるキーワードが浮かびました。それは「地域」、「連携」、「継続」です。

「地域」とは、その人が暮らす地域で育った木材を使い、地域を知り尽くした工務店等で家を建てることにより、地域や風土にあった家造りを行うことができる。「連携」とは、林業者、木材加工業者、材木販売業者、工務店等、木材に係わる全ての人々が「地域」を意識して協力する。そして「継続」とは、「地域」・「連携」の動きを一時的にとせず、継続するため、後継者や担い手の育成に力を入れる。

私は、この「地域」・「連携」・「継続」の循環こそが、人々が幸せに暮らすために重要な要素であると考えているにいたり、この想いを胸に、これからも人々と会話し、人々の笑顔のために働き続けたいと思っています。木材に関わる全ての人々の笑顔を思い浮かべ、これからも真摯にこの仕事に取り組んでいきます。そんな私の心は、常に充実感に満ち溢れています。



有限会社ヤマナカ産業



担い手の育成のため、大学等で講演も行っている

甲斐の国から新たな飛躍へ! ～第60回関東甲信越理容競技大会を開催～

●山梨県理容生活衛生同業組合

TOPICS

山梨県理容生活衛生同業組合(齊藤信善理事長)は、7月18日(月祝)に甲府市総合市民会館において、「甲斐の国から新たな飛躍へ!」をテーマに、関東甲信越ブロック1都9県の理容組合に所属する約500名の選手・関係者の参加による第60回関東甲信越理容競技大会を開催した。



第60回関東甲信越理容競技大会
「齊藤理事長あいさつ」

理容競技大会では、クラシカルカット・ファッションカテゴリー、トレンドカット・オン・レディス、トレンドカット・オン・メンズの3部門に100名の選手

がエントリーし最新のヘアスタイルや技術を披露した。

続いて行われた理容2016メッセージ大会では、関東甲信越ブロックの代表者が、日頃の営業活動や組合活動などを通じて得た自らの経験や成果を意見として発表し、理容業の活性化と未来の理容業の在り方についての理解と関心を深める契機になった。

また、関東各地から参加した関係者に向けて、山梨県の物産・特産品を知ってもらうための県産品販売コーナーを設置した。当日は、35℃を超える猛暑にも関わらず、中央会の会員組合及び組合員の19社26ブースの出展があり、大会を盛り上げた。

齊藤理事長は、「日頃から練磨された技術を競い合う伝統ある大会を実行県として盛大に開催することが出来たことを、関係者及びご協力頂いた中央



理容競技大会の様子

会の会員組合の皆様に変感謝します。近年は、低料金に設定した店が新規参入するなど、当業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いていますが、今後は組合員が一致団結して組合活動と日々の業務を行っていくことで「お客様への最高のおもてなし」を行ってきたい。」と述べ大会を閉会した。

県内の飲食店のお得な情報を発信 組合ホームページを開設!

●山梨飲食業協同組合

TOPICS

山梨飲食業協同組合(辻和夫理事長)は、郷土料理・和食・洋食・中華など県内の様々な飲食店45店で構成されている。

組合では、昨年度からの準備を進めてきた「組合ホームページ」を7月にオープンした。



組合ホームページ
「URL <http://yamashoku.click>」

近年では、飲食店情報を検索できるグルメサイトや来店客との交流も可能なSNSも多く、飲食業界の情報化が進んでいる。こうし

た中、小規模な飲食店が集まる当組合では、自社のホームページがなくても組合ホームページから各店舗の情報を発信していくことが出来るようになったことが一番のメリットである。

組合のホームページでは、県内で独自の経営をしている飲食店の存在を知ってもらい、お店の魅力やお得な情報の発信により集客を図るとともに、日々のメニューや営業状況を発信することで次の来店に繋げていくことを目指している。地域やジャンルでの検索もできるので、県内各地の組合員店舗の情報を知ってもらうための窓口として高い効果が期待されている。

また、組合では7月18日(月祝)に甲府市総合市民会館で開催された「第60回関東甲信越理容競技大会」で、参加した選手・関係者など約500名にお弁当6種類を提供した。「地産地消」をテーマとし

て山梨の食材を使いプロの料理人が作ったこだわりのお弁当は県内外から参加された方々



第60回関東甲信越理容競技大会
出展販売の様子

には大変好評で完売となった。

辻理事長は、「今後の組合の活動として、ホームページを作ったことに満足せず、常に新しい情報を発信していけるよう更新を行ってきたい。更に、今回の理容競技関東大会で大きなイベントでの弁当の提供にも自信ができたので、ご依頼があれば積極的に他の組合のイベントとも連携を行ってきたい。」と語った。

ただ今、太陽光発電中! 組合施設の空きスペース活用で大きな効果

●山梨物流事業協同組合

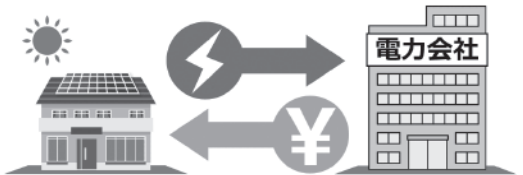
TOPICS

山梨物流事業協同組合(町田昌義理事長 組合員8社)では、組合倉庫屋根にソーラーパネル約500㎡を設置して売電事業を行っている。

発電出力は49.5KW/hを誇り、組合倉庫の屋根のほぼ全面を覆っている。

設置は、発電パネルの高品質と買い取り価格の長期保証を約束する太陽光専門メーカーと契約し、総工費2千万円をかけ平成25年8月に施工、翌9月より本格稼働を始めた。

組合は、峡東地区の運送業者9社により平成9年



に設立された。当時はバブル崩壊直後で、売上高の減少や請負単価の下落など運送業者の経営環境が厳しい時期であったことから、組合による燃料(軽油)の共同購入と共同倉庫の利用による経営力の強化により、危機を乗り切ろうと設立された。以来、組合事業は堅調に推移している。組合の主力事業である燃料の取扱いは年間3億円以上を売り上げ、組合員に安価で提供することで、安定した経営に大きく寄与してきた。

そして、近年の地球温暖化による環境問題に対して、組合員からも「CO₂を多く排出する運輸業界であるからこそ、組合として地球環境保全に取り組む必要がある。」との声も聞かれるようになったことから、組合倉庫の屋根を活用した太陽光発電の実現に至った。自然エネルギーで環境対策に取り組んでいる組合としてのイメージアップや事務所施設の



電気代の節約と売電による収入増は組合にとってメリットは大きい。

設置から3年目となったH27度の年間発電量は、76,709KWHで320万円(42円)の収入となり、組合の管理費の一部を賄う財源として、燃料の共同購入と倉庫運営の2つの共同事業とともに、第3の柱としての期待は大きく、組合では本年度も同額の収入を期待している。

従業員のコミュニケーション力向上が 会社を変える ～組合員企業の合同社員研修会を開催～

●協同組合ハイコープ山梨地区本部

TOPICS

協同組合ハイコープ山梨地区本部(太田丈三地区本部長 組合員23社)は、組合員企業の従業員を対象に共同で人材育成と交流を目的に様々な事業を実施しており、6月10日に上村直子氏(FP&コミュニケーション)を講師に、「仕事に活かせるコミュ



グループワークでのディスカッション

ニケーション」をテーマとした合同社員研修会を開催、従業員約100名が参加した。

研修会では、冒頭で、様々な人とコミュニケーションを図るために必要な適切な質問と傾聴、自己開示の重要性を実感するためのゲームを行った。次にコミュニケーションの必要性についての説明を受けた後、6～8人のグループに分かれて、与えられたテーマ・条件に基づいてグループ内でコンセンサスを作り上げていくゲームを行った。グループワークでは、リーダー・調整役・盛り上げ役の役割が自然とつくりられ、活発なディスカッションを経てコンセンサスが得られることを体験した。

上村先生は、コミュニケーションアップの極意として、①笑顔 ②自己開示をして共通点を探すこと ③リアクション ④距離感を挙

げ、良いコミュニケーションのある職場は、能力が上がり、効率が上がるとまとめた。

太田本部長は、「当組合では企業の活力アップのためには、経営者の勉強会・情報交換だけでなく従業員の交流も重要であると考え、異業種会員企業の社員同士の交流の場をもつ事業にも取り組んでいる。組合も10年を経過し、こうした取り組みは徐々に組合内に根付いてきている。今後も楽しくみんなが参加でき交流できる事業を企画し、他社の社員との交流から新たな発想や気づきを持ち帰ることができる場として継続し、組合事業を通じた会員企業の発展に期待したい。」と述べた。



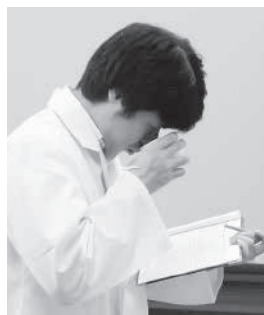
講師の上村直子氏

出荷が待ち遠しい今年の山梨の日本酒 『呑み切り審査&地酒審査』で高評価

●山梨県酒造組合

TOPICS

山梨県酒造組合(北原兵庫会長 組合員15社)は、7月22日組合事務所で「呑み切り&地酒審査会」を開催した。呑み切り審査には山梨県内の10の酒蔵が普通酒から大吟醸まで計49本を出品、地酒審査では山梨県が認定する日本酒6社、11本



香りを確かめる審査員

が出品され、東京国税局の鑑定官や県工業技術センターなどの審査員6人が、酒質や熟成具合を確かめた。

日本酒は、もろみを搾り酒粕との分離作業を終えた段階では白濁しているため、タンクで10日間ほど寝

かせ不純物を沈殿させる「滓引き(おりひき)」を行う。その後、微細な不純物の濾過(ろか)を経て、60～65度の低温で加熱する「火入れ」作業を行い発酵を止め、タンクに低温貯蔵する。その後、酒の検査のためにタンクの呑み口を開けて少量の酒を採取することを「呑み切り」と言う。

気温が上昇して酒質が変化しがちな6月～7月にかけて行う呑み切りは、出荷する前に醸造した酒が健全に貯蔵されているかを確認するとともに、熟度や香味を審査し出荷や調合(ブレンド)方法などを決めるなど、蔵元にとっては夏以降の蔵出計画の確認と今期の酒造りでの課題抽出に欠かせない重要な行事の一つとなっている。また、地酒審査でも、山梨県が推奨する酵母や県産米で醸造された銘柄についても同様の審査を受けた。

審査の後に行われた個別評価・相談会では、東



個別評価・相談風景

京国税局主任鑑定官の倉光鑑定官から「名水の里やまなしは水系が複数にあるため味に幅があり品質も高く、多くの日本酒を味わえることは贅沢。」と講評され、杜氏や蔵の代表者は香りや仕込みのタイミング等について熱心に指導を受けていた。

この日出品された日本酒は更に熟成され、10月1日に県庁防災新館で行われる「日本酒の日」イベントで試飲できる予定である。

やまなし食のマッチングフェア in TOKYOに初出展

●一般社団法人やまなし美味しい甲斐

TOPICS

7月21日、一般社団法人やまなし美味しい甲斐(小池通義代表理事)は、東京都新宿区の京王プラザホテルにおいて開催された「やまなし食のマッチングフェア2016 in TOKYO」(主催:株式会社山梨中央銀行)に出展した。

同フェアの都内での開催は4回目、首都圏の百貨店、スーパー、商社の食品バイヤー等約1,000人が来場した。当法人からは、プチ・プラム、青木農園の2社が出展したほか、県内の農産物生産者や山



個別相談会での商談

梨県製麺協同組合、山梨県漬物協同組合、山梨県食品工業団地協同組合の組合員など食品製

造加工業者53社に加え、県内市町村や観光協会の10団体が出展し、各ブースで商品説明・観光PRを行った。また、個別商談会では全体で約2,300件の商談が行われた。

やまなし美味しい甲斐は、平成26年に設立以来、商談会への出展だけでなく単独商談会も開催するなど、販路開拓を行ってきた。今回の個別商談会では、カタログショッピングでの販売、物産展への出展、常設販売などより具体的な商談を行うことができた。

カタログショッピングでは、商品ロットの問題、カタログ作成代の一部負担、半年前に提案する必要があるなど各社の商品情報を整理し、事前準備の必要があることがわかった。物産展への出展に際しては、実演販売は「音」と「におい」によりお客様を呼べるかどうか重要な要素であり、生産者の思いを



美味しい甲斐ブースでの商談

いかに伝えるのかが成功の鍵であると説明された。常設の販売では、窓口の一本化、商品の発注・補充など取引条件の設定が重要であり、法人が窓口となり継続して交渉をするよう要望があった。

今回は、過去行ってきた3回の商談会の出展の中で一番感触がよく、見積書の提出、商談の継続、現地への訪問依頼など今後につながるものとなり、新たな販路展開の期待が高い。

チャレンジ! 6次産業化

6次産業化とは、農林漁業者(1次産業)が地域にある農産物等を活用し、商工業者と連携して加工(2次産業)や流通・販売(3次産業)に取り組み、経営の多角化を進めることです。
このコーナーは、中央会が6次産業化サポートセンターとして支援している事業者の取り組みを紹介します。

鶏を通じた様々な事業の展開に取り組んでいます

～八ヶ岳南麓の魅力発信と地域連携を目指して～

●有限会社勝栄(中村農場)

代表取締役 中村 努 氏



代表取締役 中村 努

6次産業化に取り組むことになった経緯は?

結婚を契機に起業を思い立ち、平成10年7月に有限会社勝栄を設立しました。野菜の直売所やペットショップなどを経て、八ヶ岳南麓の標高1050mの北杜市高根町で中村農場を始めました。養鶏を始めようと考え、県の畜産試験場に相談したところ「甲州地どりを育ててみたらどうか」との提案を受け、飼育を開始しました。現在では、「甲斐路軍鶏」、山梨県推奨銘柄鶏「甲州頬落鶏(ほおとしどり)」等、10数種類の鶏肉と卵を生産販売しています。



開発商品の
カスタードクリームパン

当社は、高品質で美味しいものを適正価格で販売することをモットーに、八ヶ岳山麓の地下水と冷涼な空気、たっぷりの陽光、のびのびとした環境、鶏の健康を考えたブレンド餌で育てています。また、食

鳥処理場も自社で保有し、直接解体することで常に鶏の味を確認し、最高の状態でお届けすることを心がけてきました。その結果、「こだわりの鶏肉・こだわりの鶏卵の中村農場」ブランドとして消費者に支持されるようになりました。

6次産業化への課題は何でしたか?

当社の鶏肉及び鶏卵は生産直売のため安定した販売価格を維持していますが、八ヶ岳南麓の高冷地であり観光地という立地から、ハイシーズンの夏と閑散期の冬で売り上げ格差が大きく、その間の労働力や生産量、在庫の平準化が経営上の大きな課題でした。そこで、生産過剰分を活用した新たな商品を開発し、加工販売することで、生産物を100%販売することを目指しました。そして、平成23年度6次産業化総合化事業計画の認定を受け、25年度には6次産業化整備事業を活用し、カスタードクリームの菓子製造施設と直売所を整備しました。

また、積極的に首都圏の催事や商談会にも出展し、「中村農場」ブランドのイメージアップと需要開拓に努めたことで、首都圏のお客様が当社を含めた八ヶ岳南麓地域にたくさん訪れてくれるようになりました。

今後の展開は?

新しい事業として今年、「クワーカーフェ」とレストラン「ル・ピオニエ」の2店を開店しました。より多くのお客様に中村農場の美味しい鶏肉や鶏卵を味わってもらうため、地域の農家と連携し地元の野菜や食材を使った新しいスタイルのメニューを提供しています。

今後は自社鶏糞を地元の農家等に提供するなど地域との連携をさらに強め、当社だけではなく八ヶ岳南麓地域の魅力を発信し、活性化に貢献していきたいと考えています。



新規オープンした
カフェ&レストラン

やまなしものづくり最前線!

先染織物とプリントによる

「ハイブリッドテキスタイル」の試作開発

中央会では、平成24年度より国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組む事業者を紹介します。

●株式会社 川栄 代表取締役社長 川村 昌洋 氏

株式会社 川栄(川村代表取締役社長 南都留郡西桂町)では、平成24年度のものづくり補助金を活用し、「先染織物とプリントによる『ハイブリッドテキスタイル』の開発」に取り組んだ。

富士山の麓に広がる山梨県の郡内地域は古くから養蚕の適地であり、絹糸を活用した織物が盛んなこの地域で織られるものは、総称して郡内織物と言われてきた。川栄は西桂町で養蚕業とともに大正4年に



導入したインクジェットプリンター

製織業を創業し、洋服の裏地や傘地、マフラーの生地などの織物を手掛け、伝統の技術を受け継いできた。昭和40年には、現在の主力商品となっているネクタイの製造をスタートし、大手アパレルブランドや有名セレクトショップに高品質なネクタイ生地を提供してきた。

ネクタイ向けの生地を生産している川栄の製品は、国内外のメーカーから高い評価を得てきたが、生産技術が単純なネクタイ生地だけでは発展途上国等の追い上げで生き残りが難しくなると考え、これまで同社が手掛けてきた先染織物にプリント(後染め)を施す「ハイブリッドテキスタイル」の開発に新たに取り組むこととした。

先染織物の特徴は、重厚感や織物の凹凸感など独特の風合いが出せるが、デザインや色表現に限界があるというデメリットがある。一方、プリントの特徴は、デザインや色表現は幅広くできるが、コストもかかり生地が平板なため織り方で高級感を出しにくいというデメリットがある。

そこで、今まで蓄積されてきた先染織物の技術をもとに、デザインから生地製造まで一貫して行える自社の強みを活かし、プリントの

良さである多種多様な表現を可能とする後染が施せるインクジェットプリンターを本補助金事業で導入、先染織物にプリントを行い付加価値の高い「ハイブリッドテキスタイル」の試作に取り組んだ。完成したハイブリッドテキスタイルは、まさに先染織物の良さとプリントの良さを融合した高付加価値の織物となった。

川村社長は「これまでなかった全く新しい高級織物生地が完成し、高級織物産地イタリアの織物にも引けをとらない。」と自負するとともに、「弊社にとっては、今後も高い品質のハイブリッドテキスタイルを社内で一貫生産できることは大きな強みとなり。他社との差別化になる。」と述べ自信を見せた。

生き生きとした表情で語る川村社長の言葉からは、ものづくりへの情熱と自社のものづくりへの想いが伝わってきた。



代表取締役社長 川村昌洋

情報BOX

組合の運営や管理のポイントを学ぶ

「組合実務講習会」を開催！

中央会では、7月から8月にかけて述べ5回の「組合実務講習会」を開催した。この講習会は組合で事務処理などの実務を担当している事務局役職員者を対象に、組合運営や管理で必要となる「組合法・団体法」、「定款」、「議事録の作成」、「登記」、「各種届出義務」のポイントや注意事項等を学ぶことを目的に開催した。

講習会の講師は中央会の職員が務め、これまでの経験をもとに実体験を交えて説明を行うため、受講者から「組合の実情に則した実務を学ぶことができる」と好評を得ている。

また、普段の組合運営に直接かかわる規則も多い「定款」は、受講者から特に好評であった。「定款」の講習では、参加者がそれぞれ所属する組合の定款を持参し、定款の基礎となる定款参考例を基に持参した定款が定款参考例に則しているか確認しながら受講し、普段、じっくりと読まない定款をこの機会に見直すこ

とにより、定款の意味や実際の組合運営と定款があっていない部分等を確認することができた。

講習会は毎年開催していますので、組合代表者は、この講習会を組合事務局や実務担当者の育成にぜひ活用いただきたい。

また、中央会では「中小企業組合士」とは、組合の運営管理を行う上で必要な知識に関する試験を行い、合格することにより、全国中央会から与えられる資格である。中央会では、この中小企業組合士の資格取得を目的とした講習会を11月頃に開催する。こちらにもぜひご参加いただきたい。



▶平成28年度 中小企業組合士検定試験

“中小企業組合士”をご存知ですか？

中小企業組合士とは…

事務局で働いている役職員の方が職務を遂行する上で、必要な知識に関する試験を行い、資格合格者の中から一定の実務経験を持つ方に、中小企業組合士の称号を与える制度です。

- 1.試験日 平成28年12月4日(日)
- 2.試験科目 組合会計・組合制度・組合運営
- 3.受験会場 全国中小企業団体中央会 他
- 4.受験料 5,000円(一部科目免除者は3,000円)
- 5.その他 お申込方法など詳しいことは
山梨県中小企業団体中央会連携組織課まで
お問合せ下さい。
TEL055-237-3215

第17回「センターでバザール」

開催日時

平成28年9月3日(土)
午前9時～午後4時

開催場所

協同組合山梨県流通センター
(中央市流通団地)

開催内容

★バザールコーナー

靴、スニーカー、食料品、日用雑貨、バッグ、傘、靴下、キッチンツール、子供服等、出店予定！

★飲食コーナー

やきそば、たこ焼き、やきとり、クレープ等

★イベント

- ・働く車大集合（パトカー、消防車、クレーン車等）
- ・中央市保育園マーチング
- ・大ビンゴ大会（豪華賞品多数）
- ・スリッパ飛ばし
- ・わなげ大会
- ・チラシ持参抽選会
- ・〇×クイズ

★団地内企業・従業員提供商品によるバザーブース

売上は、地域に役立ててもらうために赤い羽根共同募金に寄付します。

★フリーマーケット

お問合せ先 協同組合山梨県流通センター TEL055-273-4711

平成28年度 障害者雇用支援運動

障害者の雇用の促進と安定を図るため、障害のある方自身の意欲の喚起と、県民の皆様、とりわけ事業主の方の関心と理解を一層深めていただくことを目的として、障害者雇用支援運動を実施します。

- ◆期 間…平成28年9月1日(木)～10月31日(月)
(9月は、国の「障害者雇用支援月間」です。)
- ◆主 催…山梨県、独立行政法人 高齢・障害・求職者支援機構山梨支部
- ◆後 援…山梨労働局・公共職業安定所

主な実施事業

平成28年度障害者雇用優良事業所等表彰式

- 開催日 9月15日(木) 午後2時～
- 会 場 ポリテクセンター山梨
(甲府市中小河原町403-1)
- 内 容 障害者雇用優良事業所表彰、
優秀勤労障害者表彰

障害者雇用啓発キャンペーン

啓発キャンペーンとして、JR甲府駅頭キャンペーンや県下市町村巡回キャンペーンを実施します。



アビリンピックやまなし2016 (第36回山梨県障害者技能競技大会)

- 開催日 10月2日(日) 午前9時～午後4時
※競技は午前中を予定しております。
※県内NPO法人及び障害者団体による物販も予定しております。
※大会詳細・参加申込書の提出期限等につきましては、お問合せください。
- 会 場 ポリテクセンター山梨(甲府市中小河原町403-1)
- 内 容 職業技能競技11職種(ワード・プロセッサほか)
伝統技能競技 1職種(風製作)

▶▶▶ 出場選手及び大会ボランティア団体募集中!

一般見学が自由にできます。日頃培った技能をぜひご覧ください。

大会詳細情報・参加申込みはこちらまで

<http://www3.jeed.or.jp/yamanashi/poly/documents/abilympics2016.html>
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構HP)

問い合わせ 山梨県産業人材育成課 TEL055-223-1566 / (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構山梨支部 高齢・障害者業務課 TEL055-242-3723

通常総会に合わせて経済講演会を開催!

県内の経済状況について日銀の竹内支店長が講演

山梨県中小企業労務改善団体連合会(大宮山磐会長 会員17団体)は7月25日に中央会研修室において通常総会を開催し、傘下会員32名が参加した。

当連合会は、県内各地で中小・小規模事業者の労務改善を推進している団体の連合会として昭和51年に組織され、従業員の福利厚生の実現や地位向上のための各種セミナーや表彰式典の開催、アドバイザーによる労働相談業務等取り組んでいる。



景気動向について話す
日銀の竹内甲府支店長

大宮山会長はあいさつの中で、安倍政権が掲げる同一労働同一賃金について触れ、「中小企業にとってきわめて厳しい政策だが、将来の労働力不足を考えれば避けては通れない。当連合会でもこの問題を真正面から受け止め、労使協調のもとしっかりと取り組んでいきたい。」と述べた。その後行われた総会では、平成27年度の事業報告・収支決算と平成28年度の事業計画・収支予算等が承認決定され、滞りなく閉会した。

総会終了後に開催された講演会では、「昨今の景気動向について」をテーマに、今年の6月に日本銀行

甲府支店長に就任した竹内淳支店長が講演を行った。講演の中で山梨県の産業構造について触れ「全国と比較すると第2次産業の製造業、特に電気機械や生産用機械の割合が高く、第3次産業の割合が少ないのが特徴。輸出関連の製造業が多いためリーマンショックのような外的要因の影響を受けやすい側面がある。」と語った。また、近年の中国人による爆買いについては「消費品目の傾向に変化が出始め、高額品から低額品にシフトし服感も出てきている。一人当たりの消費額でみるとオーストラリア人が一番多く、全体では、買い物中心の旅行形態ではなく、宿泊や飲食、娯楽サービスなどの滞在を楽しむ成熟したスタイルに移行していくだろう。」との話があり、参加者は熱心に聴き入っていた。



通常総会の様子

情報BOX

第68回 中小企業団体全国大会 ツアー参加者募集

- 日時** 平成28年 10月19日(水)~20日(木)
(全国大会▶19日午後1時~4時)
- 会場** いしかわ総合スポーツセンター
(石川県金沢市稚日野町北222)
- 参加費** お一人様 60,000円
※交通費、昼食、大会参加料、保険料等含む
※参加人数により募集金額が変更になる場合があります。
- 募集人員** 30名

主な観光先 かなざわ石亭(会席料理)、
金沢港いきいき魚市、立山
黒部アルペンルート観光(美女
平、弥陀ヶ原・天狗平、
室堂、大観峰、黒部平、
黒部湖・黒部ダム)



Come on! Truck Driver!



トラックドライバーの仕事って何? 荷物を運ぶ仕事? いいえ、トラックドライバーの「仕事」は「運ぶ仕事」ではなく「届ける仕事」です。ご存知でしょうか、国内物流の約9割を担っているのはトラックであることを。「今日出した荷物が明日には届く」そんな「当たり前」の陰にはトラックドライバーがいることを。荷物を待つ人のもとへトラックドライバーは預かった荷物とともに「生活・経済」を後ろに載せて、より確実に、環境に配慮しながら、今日も走り続けています。トラックの魅力を教えてほしい? それは乗ってみればわかります。人の想いを届けてみればわかります。

さあ未来へと走ってみよう、トラボーイ、トラガールとして。

平成27年度環境標語最優秀作品

トラックが僕らの未来を守ります
暮らしと荷物と環境を

(一社)山梨県トラック協会・(公社)全日本トラック協会

●「人材」を活用した先進的な取り組みを表彰します!●

「新・ダイバーシティ経営企業100選」応募受付中です!

経済産業省では、ダイバーシティ推進を経営成果に結びつけている企業の募集を受け付けています。全国の応募の中から100企業を選考し、選定されると経済産業大臣から表彰を受けることができます。

1.「ダイバーシティ経営」とは?

「多様な人材(性別、年齢、国籍のほか、キャリアや経験、働き方など)を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することでイノベーションを生み出し、価値創造につなげている経営」のことです。

2.公募期間

平成28年7月15日(金)~平成28年9月14日(水)まで

3.応募方法

「新・ダイバーシティ経営企業100選」ホームページより応募用紙をダウンロードし、応募書類を作成。

4.その他

詳細は下記ホームページをご参照ください。

<http://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/diversity/kigyos100sen/>

ダイバーシティ100選 検索

5.お問い合わせ

平成28年度 新ダイバーシティ経営企業100選 事務局
EYアドバイザリー株式会社 ☎03-3503-1555



この街と生きていく



しんきんキャッシュカードなら、全国のしんきんATMで、平日・土曜の入出金手数料が無料でご利用できます。

(本サービスの対象とならないしんきんATMが一部ございます。)

山梨信用金庫
(055-235-0311)

甲府信用金庫
(055-222-0231)